

さやはく音楽会 ギターの調べ

The Melody of the Guitar

令和 11月30日(日)
7年

開場 13:30 / 開演 14:00

◆参加費：1,000 円（高大生 500 円、中学生以下無料）

◆会場：狭山市立博物館 1階 まいまいホール

◇定員：先着 60 名

◇申込み：10月19日(日) 9時より

電話 (04-2955-3804 / 080-4171-1679)

または直接来館にて受付

GUEST

松尾 俊介

PROGRAM

マウロ・ジュリアーニ

グラン・ソナタ・エロイカ op.150

ヨーゼフ・カスパル・メルツ

吟遊詩人の調べ op.13 より「夕べの歌」「愛の歌」

レクチャー（河野ギター製作所）

マヌエル・デ・ファリャ

ドビュッシーの墓に捧げる讃歌

アントニオ・ルイス＝ピポー

歌と踊り第1番

ほか

企画協力：河野ギター製作所

◎予定は変更となる場合があります。最新の情報は当館 HP、SNS をご確認ください。

<指定管理者>アクティオ・東急コミュニティー共同事業体



狭山市立博物館

松尾 俊介

パリ国立高等音楽院ギター科を審査員満場一致の首席で卒業。2005年、古楽と現代音楽に焦点を当てたファーストアルバム「ヴァリエ 1」をリリースし、トッパンホールにてデビュー・リサイタルを開催。その後はHAKUJU ギターフェスタ、ベオグラード国際ギターアート・フェスティバル、サラエボの冬などの音楽祭に招かれるほか、東京オペラシティ「B→C」、東京春音楽祭、ザ・シンフォニーホール「未来の巨匠がつなぐバトンリレーコンサート」シリーズなどに出演。これまでに東京交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団等のオーケストラと共演し、ソリスト、室内楽奏者として、邦楽との共演や新作の初演など多彩な演奏活動を展開している。

2016年に開催された武満徹没後20周年を記念したリサイタル「武満徹へのオマージュ」がNHK-FM「現代の音楽」で放送されたほか、バッハ作品をはじめ多数の編曲を手掛け、2019年には史上初のギター伴奏によるシューベルト「白鳥の歌」全曲演奏が高い評価を得る。一般財団法人地域創造公共ホール音楽活性化支援事業登録アーティスト。

ギターを渡部延男、福田進一、アルベルト・ポンセ、キャレル・アルムス、オリヴィエ・シャッサンの各氏に、古楽をエリック・ペロック氏に、室内楽をラスロ・ハダディ、上田晴子の各氏に師事。

CDは2008年マヌエル・ポンセ作品集「Varie4/Ponce Guitar Works」、2013年には自身がすべての編曲を手掛けたバッハのリュート作品を中心とした「ギターが奏でるバッハの世界」、2015年「トリアエラ〜ローラン・ディアンズ作品集」、2016年「エキノクス〜武満徹へのオマージュ」をリリース、いずれもレコード芸術誌特選盤に選ばれる。近年はウィーン音楽集「ビーダーマイヤー」「ザ・マティーカ・トリオ」をリリースし、特に最新盤「ウィーンの余韻〜ジュリアーニ・メルツ作品集」はレコード芸術オンラインで推薦盤に選ばれた。

松尾俊介 Web サイト：<http://shunsukematsuo.com>



河野ギター製作所 狭山市柏原 29-1

初代・河野賢氏が設立した河野ギター製作所からは多くのクラシックギター製作家を輩出、河野氏の他界後は桜井正毅氏が河野ギターを受け継いだ。河野氏は1967年ベルギー国際ギター製作コンクールで金賞を受賞。桜井氏は1988年パリ国際ギターコンクールでプルミエ・プリ賞を受賞。両氏とも世界に通ずるクラシックギター製作家として知られている。

現在では、河野賢の孫にあたる君島聡氏が桜井氏から製作所を引き継ぎ、約10人の職人とともにクラシックギターを製作し、河野・桜井のギターを引き続き継承、製造しつつ、異なる特性の独自モデルを作っている。豊富な「材」、蓄積された「データ」「技術」により生み出された高水準な演奏性と魅力的な音は、入門者から国内外のプロ演奏家まで、あらゆる場面で多くの愛好家を魅了している。

狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山 1-23-1

Tel：04-2955-3804 / 080-4171-1679 Fax：04-2955-3811

ホームページ：<https://sayama-city-museum.com>



HP



X



Instagram

■西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分

■西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅」終点下車、徒歩3分

※ご来館は交通機関をご利用ください。